**職　務　経　歴　書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　○○ ○○

**■職務要約**

○○大学では、主にがん細胞の発生（エピジェネティクスとDNAのメチル化について）の基礎研究を行ってきました。

公立△△研究所に在籍してからは、造血管細胞・CD分子といった免疫系に作用する化学物質の解析を中心に担当してまいりました。

**■職務経歴**

□19xx年xx月～19xx年xx月　○○○大学

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 業務内容 |
| 19xx年xx月　～19xx年xx月 | ○○○ |
| 転写制御のモデリング因子分析・クロマチンの構造変換解析・DNA精製 |
| 研究員5名 |
| 19xx年xx月　～19xx年xx月 | ○○○ |
| 葉緑のDNAメチル化と遺伝子発現・共同研究の技術担当・実験計画の作成・実験手法の開発・特異発現の発生条件についての検討・分子生物学雑誌への準備・DB開発 |
| 研究員5名 |

□19xx年xx月～20xx年xx月　公立△△研究所

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 業務内容 |
| 19xx年xx月　～20xx年xx月 | ○○○研究室 |
| 可溶性蛋白の解析・免疫組織学的解析・DNAクローニング・分子機能解析（RT-PCR） |
| 研究員7名 |
| 20xx年xx月　～20xx年xx月 | ○○○室 |
| VEGF発現の制御機構分析※○○大学との共同プロジェクト・受容体（アロマターゼ）の変化検索・創傷治癒時のVEGF発現の詳細検討 |
| 研究員6名（大学側から2名参加） |

**■活かせる経験・知識・技術**

・習得手技　：　植物細胞培養（XXX法）、結合たんぱく質の精製、電気泳動、DNA抽出、酵母遺伝子シークエンス、DB開発、HPLC（XX法）、PCR（XX法）

・取扱機器　：　SANYO MCV-B131F、TOMY MX-150、ZEISS AIS2、OLYMPUS CK40、3100 Genetic Analyzer、7700ＨＴ Detection System,Multimek96/386, Millipor MiliQ Jr, Marubishi MDL500, Akta Explorer, KURABO PI-100S, bio-craft MJ-300E, TAITEC BR-160LF, Applied Biosystems GeneAmp PCR9700, Ventana Japan Ventana NX, ThermoShandon Cytospin4, Leica SM2000R

**■論文・特許・学会発表**

　・特許出願　8件（うち外国出願1件）（cf. WOxxxx/xxxxxx）

・学会発表

　　　「○○○○の理論解析と最適化条件の実証的検討」第○○回○○○○学会、東京、20xx年xx月

　　　「○○○○の構造と活性」第○○回○○○○学会、大阪、20xx年xx月

　・論文

　　　「○○○○と○○○○の構造活性と変質の関係性」○○○○研究雑誌、132、○○○○学会、20xx年xx月

**■資格**

・TOEIC 720点（20xx年xx月）

**■自己ＰＲ**

あまり、限定せずに簡潔に！

遺伝子学・免疫組織学的アプローチを得意としており、プロジェクト内でもプロジェクトリーダーから頼られる存在でした。また、実験の効率性の改善を常に意識して、プロジェクト全体を見るよう心掛けておりました。

所属していた研究室が積極的に他大学との交流や産学協同研究を進めていたこともあり、多くの方と研究する機会も多かったため、新しい環境などにもすぐに順応できる力を持ち合わせております。

以上